

— **ARK04^s** —

改質アスファルトルーフィング下葺材規格

— **の おすすめ** —



改質アスファルトルーフィング下葺材規格「ARK04^S」をおすすめする理由があります。

理由 1

2009年10月1日より住宅瑕疵担保履行法が施行され、より確かな品質の部資材が求められています。

屋根防水は住まいの品質を左右する重要なポイントのひとつです。

すべての新築住宅の引渡しに保険加入（または保証金の供託）が義務付けられた「住宅瑕疵担保履行法」が2009年10月より施行されており、「雨漏り」を防ぐ屋根の下葺材の重要性は、以前にも増して高まりました。重大な瑕疵を発生させないために、JWMAが規格化した『ARK04^S』製品をぜひ、お選びください。



屋根からの「雨漏り」を防ぐ下葺材。
下葺材は住まい全体の品質を大きく左右します

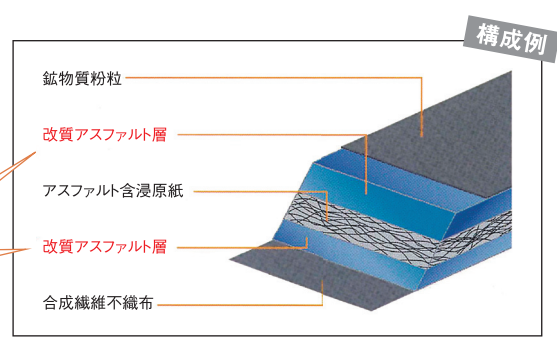
アスファルトルーフィング940との比較

改質アスファルトルーフィング下葺材とは

改質アスファルトルーフィング下葺材

アスファルトに合成ゴムや合成樹脂を混入して防水性能を向上させています。基材を複層にしたもの、粘着層を加えたものなど多くの種類があります。

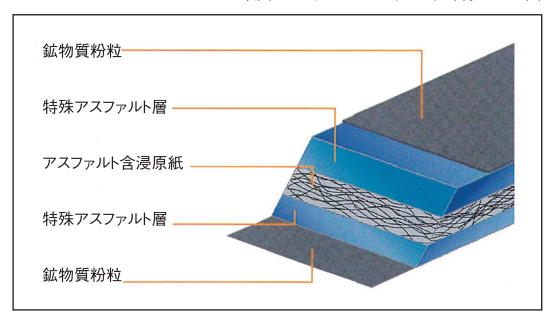
同じような構造でも
ココが違う



改質アスファルトルーフィング下葺材イメージ図

アスファルトルーフィング940

基材にアスファルトを被覆し、表裏面に鉱物質粉末を付着させたもの。JIS (A6005) で規定されています。



アスファルトルーフィング940イメージ図

理由

2

JISにもなかった規格をJWMAが初めて規格化。 安心してご利用いただけます。

改質アスファルトルーフィング下葺材は多くの製品が市場に流通しているもののJISによる規定はなく、JWMAが初めて規格化しました。「ARK04^s」は、JWMAが認めた最低限の推奨品質です。

※規格の詳細については裏面をご参照ください。

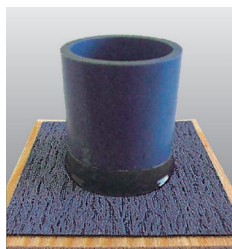
理由

3

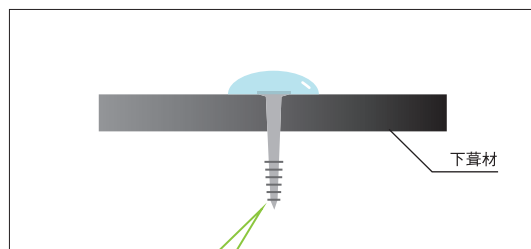
3つの大きな特徴で安定した品質をお約束します。

1 釘穴シーリング性 水が漏れにくい

下葺材に釘を貫通させて水圧をかけた場合、「ARK04^s」では、試験体10のうち8以上漏水しない性能を求めています。



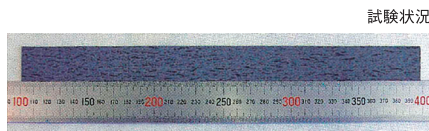
試験状況



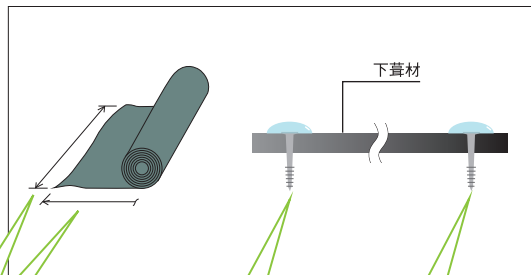
釘を貫通させても水が漏れにくい

2 寸法安定性 あばれにくい

太陽熱の影響を受けやすい屋根面において、長手方向、幅方向とも±3mm以内の寸法安定性を求めています。



試験状況



寸法が安定しているので
確実な施工ができる

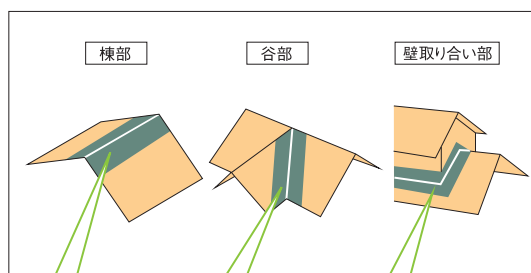
寸法安定性に優れるため、複数箇所の
留め付けでも釘廻りの穴が広がりにくい

3 低温折り曲げ性能 亀裂が生じにくい

屋根の棟部や谷部、壁取り合い部で必ず発生する下葺材の「折り曲げ」。「ARK04^s」では、試験体10のうち9以上亀裂が発生しない性能を求めています。



試験状況



下葺材を折り曲げて使用する棟部や谷部、壁取り合い部でも亀裂が生じにくい

「ARK04^S」適合品のマークをお確かめください。

改質アスファルトルーフィング下葺材規格「ARK04^S」を
クリアした製品には、規格適合のマークが記されています。
ご利用の際にお確かめください。



改質アスファルトルーフィング下葺材規格「ARK04^S」（抜粋）

試 験 項 目			規 定
引 張 強 さ	無 処 理	長 手 方 向	60N/cm以上
		幅 方 向	40N/cm以上
	加 熱 処 理 後	長 手 方 向	無処理試験値の80%以上
		幅 方 向	無処理試験値の80%以上
引 裂 強 さ		長 手 方 向	7N以上
		幅 方 向	7N以上
釘 穴 シ ー リ ン グ 性			試験体10個中8個以上に漏水が無いこと
耐 折 り 曲 げ 性		無 処 理	試験片10個中9個以上に亀裂が生じないこと
		加 熱 処 理 後	試験片10個中9個以上に亀裂が生じないこと
改 質 ア ス フ ァ ル ト 等 の 浸 透 状 況			改質アスファルト等の不浸透部分が無いこと
耐 熱 性			被覆物のずれ落ち、発泡、浸透している 改質アスファルト等のしみ出しなどが生じないこと
寸 法 安 定 性		長 手 方 向	0±3mm
		幅 方 向	0±3mm



「ARK04^S」は住宅用勾配屋根下葺材の規格です。

「ARK04^S」は、主に住宅の勾配屋根に使用する改質アスファルトルーフィング下葺材の規格です。JIS A 6013「改質アスファルトルーフィングシート」規格は主に陸屋根に使用するもので、住宅用の勾配屋根下葺材には対応しておりませんので、ご注意ください。

一般社団法人 日本防水材料協会 アスファルト防水部会 住宅屋根防水分科会 正会員

- ガ ム ス タ ー 株 式 会 社 〒596-0806 大阪府岸和田市摩湯町126 072-444-9021
- 静 岡 瀝 青 工 業 株 式 会 社 〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町4-8 054-273-2781
- 常 裕 パ ル プ 工 業 株 式 会 社 〒799-0431 愛媛県四国中央市寒川町830 0896-23-3400
- 田 島 ル ー フ ィ ン グ 株 式 会 社 〒101-8579 東京都千代田区外神田4-14-1 03-6837-8900
- 七 王 工 業 株 式 会 社 〒765-0031 香川県善通寺市金蔵寺町180 0877-62-0951
- 日 新 工 業 株 式 会 社 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4 03-3882-2424
- 三 島 工 業 株 式 会 社 〒799-0404 愛媛県四国中央市三島宮川1-8-25 0896-24-4420